



紫土整第4号  
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 殿

紫波町長 藤原

孝



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国企第114号にてご依頼のありました標記について、下記のとおり回答いたします。

記

中期計画の作成についての意見

- 1 重点化を進める上で、特に優先度の高い道路政策は何か
  - (1) 地方の道路は未だに未整備区間が多く、末端の生活道路の整備は不可欠であり、中央との格差が広がらないためにも道路特定財源は絶対必要であります。
  - (2) 道路特定財源の割合が年々少なくなるのではないかと心配しており、財源の確保は必要であります。
  - (3) 地方道路整備臨時交付金（パッケージ）事業は平成19年度終了予定であります。維持管理費が年々増加しており、平成20年度以降も継続を要望いたします。
  - (4) 都市計画道路は都市計画決定からかなりの年数を経ているが未だに未整備区間があり、中長期的な整備計画が必要であります。
  - (5) 交通安全施設の整備計画
  - (6) 防災、環境保全を十分考慮した整備計画
  
- 2 効率化を徹底的に進める上で重要な事項は
  - (1) 評価制度の充実
  - (2) コストの縮減（維持管理費も含む）
  - (3) 住民の意見の反映